

## 個人ベースから組織ベースの連携へ JICAとの連携の可能性

北海道大学国際化の最先端で重要な位置を担っている国際戦略本部の豊田准教授は、北海道大学とJICAの連携協定について「大学が組織的に国際化に向けた方針を決めるいい試金石になる」といいます。「以前は個人的に個々の教授がJICA事業に関わっていたが、それはあくまで個人ベースであり、大学側が包括的に把握することはなかった。しかし、この協定ができたことにより教授陣のJICA事業への参加や、学生が授業などを通じて国際協力に触れる機会等をより組織的に、戦略的に提供できるようになった。またソフト面だけでなく、校舎の使用などハード面においてもより体系的な協力関係になって来た」と、北海道大学とJICAの連携による変化を捉えています。他方、JICAにとっても、北海道大学との連携は大学の持つ地域特性や人的ネットワークを活用できる仕組といえます。北海道大学は、2005年から「持続可能な開発」国際戦略という国際化への目標を定めており、JICAと連携することによってより国際的な刺激を学生に与える機会を増やすことができ、将来的に海外の優秀な学生を呼び込むチャンスにもなると考えています。将来に向けてさらなる連携強化が期待されています。

## 研修員受入事業の可能性 国別研修「ナイジェリアHIV感染予防対策」

国連エイズ合同計画 (UNAIDS) の報告によると、2005年のナイジェリアのHIV感染者数は世界で3番目に多く、320万人から540万人と推定されています。JICAでは、北海道大学と協力して、2002年から毎年8名のナイジェリア研修員を日本に招き、HIVの拡大防止対策やVCT (Voluntary Counseling and Testing) の重要性を理解し、感染リスクを減少させるための具体的な方策を学ぶことを目的に研修を行っています。

研修コースリーダーである玉城英彦教授は、JICAと北海道大学の関係、そして北海道大学にとっての研修コースの意義を次のように語っています。

「JICAにとって、多くの協力分野での専門家を抱える北大は、北海道における重要なパートナーではないでしょうか。また、北大の学生には、研修員との交流を通して、途上国の心を読める人になってもらいたいと思います。今後、連携の体制が整備され、よりよい研修員受入れ事業が行われることを期待しています。」



玉城教授がナイジェリアからの研修生に講義している様子。

## 編集後記

今回は今年の4月にJICAに入構し、現在JICA本部に勤務する3人の新入職員が編集を担当させていただきました。(本部のある)東京にいるとわからなかったことですが、JICA事業にとって地域の果たす役割がとても大きいことを痛感しました。このように地域の特性を持った総合大学とJICAが連携できることは、今後のJICA事業に幅を持たせてくれ、地域や大学の国際化に貢献できるという点で、お互いにとってまさにWin-Winの関係といえるでしょう。このつながりの大切さを忘れずに業務にあたりたいと思います。(JICA 富谷、大林、今吉)



ザンビア大学獣医学部の卒業式の一コマ  
このプロジェクトを通じ、ザンビア国内で獣医師が養成されるようになりました。

## JICAと北海道大学の協力を象徴する 「ザンビア大学獣医学部技術協力プロジェクト」

### 20年の協力が大学の財産に 金川弘司 獣医学部名誉教授 に聞きました

1985年、獣医学教育制度確立によるザンビアの畜産振興を目的として、JICAによる「ザンビア大学獣医学部技術協力計画」が開始されました。この技術協力プロジェクトに計画段階から携わった北大獣医学部の金川名誉教授は、「北大獣医学部は、アフリカ有数の獣医学拠点創設に貢献しただけでなく、現在の北大・ザンビア大交流の礎を築いた」と語っています。また、同教授は大学を代表する専門家としてJICAプロジェクトに関わった経験から、現在の連携に大きな期待を寄せています。「大学が国際協力に携わるには、様々な困難があります。しかし、『継続は力なり』と言って、ザンビア大への協力は目に見える形で大学の財産となっています。連携協定締結という追い風の中で、北大はより積極的に国際展開を進めていくべきだと思います。」

### ザンビア大学獣医学部技術協力プロジェクトの実績

- ・ 専門家、青年海外協力隊等180名以上が、同獣医学部の創設、管理運営、指導に貢献
- ・ 同獣医学部は250余名の卒業生を輩出し、南部アフリカの獣医学の教育・研究・普及に貢献
- ・ 1993年:北大獣医学部と同獣医学部の間で姉妹提携が結ばれる
- ・ 2004年:北大獣医学部提案の「国際獣医学教育協力推進プログラム」が文科省の「特色ある大学教育支援プログラム」に選ばれ、2005年にザンビア大学教育研修が実施される